

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 205 号)

発行日：2024 年 (R6) 8 月 21 日 編集/発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788  
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)



## 戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

「暑い！なんと長く感じる夏でしょうか。しかも連日の猛暑。」(2022 年)「暑い！というよりいつもの異常。いやいつも以上の異常？」(2023 年)この二つのコメントは同時期の会報の冒頭です。もう異常なんて言葉は使っても意味がない。「当たり前」の夏。

宝塚市では「2025 年度までに市立小中学校の全 35 校の屋内運動場(体育館)に空調設備を導入する予定(2024/2/20 毎日新聞地方版)」だそうで「めでたい」。しかし、電気代はかかりそうやけど。教育には惜しみなくお金を使ってほしい。宝塚市の小中学校の皆さん楽しみに待っててね。来年度内には涼しい(暖かいもか?)体育館が待ってまーす！避難所としての意味も大きいかな？災害時代これも大事。

驚くことに、暑さのあまり「水泳=プール」活動が中止になることもあるとか…学校に床冷房付きプール、もしくは屋内プール(空調付き)が当たり前時代の時代も近い？オリンピックでメダルが増えることになるのか？

でも一番大事なことは何なんですか？根本、ベースにお金をかけなくてもいいのでしょうか？根本、ベースって何なんですか？議論されているのでしょうか？また、戯言を言っていました…(根本、ベースの考え方はいろいろだと思いますが…)

(今住 8 月 20 日作成)

## やまぼうし保育園 ★7月 18 日(木) 分園 27(土) 親子遠足(本園分園合同)

やまぼうし・はなみずき保育園通信の様相を呈してきましたが、18 日(木)、遅ればせながら



スキップ姿がまぶしい！

やまぼうし保育園分園がやってきました。5 月にはなみずき保育園が来ているので、季節が移った訪問となります。園児にとっては初めての丸山湿原。ワクワクがっぱいなことでしょう。ガイドにとっては保育園が何度も来てる感じですが、皆初めてなんです。こちらも初めてとして案内しましょう！当たり前ですが…

バスから降りてくるとスキップも軽やか。初めてとは思えない人懐こさ。いいね～。メニューはほぼ同じなんですが、夏本番を迎え暑い！少しくールに。と、またサワガニ探し。少し長く時間をとります。水没すると後がしんどいので「長靴に注意！」とはいうものの数名水没。ま～自己責任で…5 歳の自己責任って？「経験」に置き換えましょう。やっぱり「酸っぱい葉=カンサイスノキ(関西酢の木)」は人気で、枝



「カニつかまえてん」と大事そうに袋へ



ウラジロ前立は人気

を手放さない子も。「さすが山仕事にのどを潤す知恵」「昔の人はすごい！」と心の声。最初は無理やり食べさせているのですが…そして、ひょっとしたらサギソウが咲いているかも？当然ハッチョウトンボ（八丁蜻蛉）も？と思いつつウラジロ（裏白）で兜の「前立」をセット。



歩きにくい丸太が面白いらしい

いざ湿原へ。湿原内を見渡すもシラサギらしきものは見えず。「まだか？」では赤いちっさいのは…何度来ても今年は少ない！よ〜く探します。「いた！」と大人の声。見回すと園児たちは他のことに興味津々。いつも書いていますが、小さいものは人気が無いんです。（あくまで一般的に）ここにオニヤンマやコオニヤンマなどの巨大なトンボが出てくると大騒ぎになるのですが…。周りに子どもがいないのに「おった！」と1人歓喜の声を出すのはちと空しい。数がいればこんな「孤独感」は味合わなくて済むのに…。他の湿原はそこそこ出ているらしい。原因は不明のまま。



いるんです ハッチョウトンボ



下の道へワープ！

気を取り直して（ガイドが…）近場のはげ山（シルトロードね）に上がり、「大きな砂場」で松ぼっくりを集めて帰途に。帰り道は通常「新道」を通るのですが、駆け出した子どもたちは来た道を通る。（新道と並行した旧道、高低差あり）「新道」を帰る子どもたちは、下方にいる先行の子どもたちを見つけ、「あっちがいい！あっちがいい！」と。そして、なんと藪漕ぎを気にすることなく「ワープ！」。山の上からや

ってきたお友達にびっくりの「旧道」組。なんとアクティブなことでしょうか？「危ないから行ったらあかん！」ってなんで言わないのか自分でも不思議。やっぱりあかんやろか？

帰りはもう一度川に入って「飛び込み？」と思っていたのですが、走り出した子どもたちを止めることはできずそのままバスが待つ駐車場へ。暑い中ご苦労さんでした。

**もう一つ保育園通信。**27日（土）やまぼうし保育園が「親子丸山湿原遠足」を企画。本園・分園合同企画です。当然自主参加。各自自家用車でのご来訪でした。



暑いですが気持ちがいいですね

親子ということで参観日のような妙な緊張は？…猛暑の影響でなし。この暑さで「来て失敗やった」と思われたらどうしようと思っていたのですが、山好き、自然好きの皆さん。暑いのは百も承知のようでした。ふと見ると、先日来ていた子が…「ワープした、ワープした」と自慢していました。「葉っぱとって〜」とも。何も言わないのに川に入ってカニ捕りも。もはや「野生児」になりつつあります。ええんやろか？大人も子どもにつられて「葉っぱ」を食べる。カンサイスノキ、タ



勝手にサッサとカニ探し



視点場すぐ先のサギソウ 蕾も



第3 湿原はなぜか二手に分かれます

ムシバ（田虫葉）。シキミ（柘）を渡され食べかける？…危険。サギソウ（鷺草）もこの10日間でかなり開花していました。サギソウの可憐な姿に感動されたかどうかは不明。いつも言われるのですが「思っているより小さいですね」と。そうなんです。「小さいから可憐なんです」とは言わなかった。結構いいフレーズかも。次回からこれでいきましょう。

いつもならサギソウとハッチョウトンボのコラボが見られる時期、しかし今年はやはりかなわず。寂しい…大人向けの話（ひ・み・つ）もしつつ、子どもと戯れ「あっつ！あっつ！」の割には楽しめた行事？でした。「宝塚にもこんな所があるんですよ～」と気づいていただけたらありがたい。「西谷」は何処へ行っても実は同じような場所（環境）があるはずなんです。人が山（里山？）から離れすぎた現実があります。

やまぼうし保育園さんありがとうございます。親子遠足ぜひリターンズお願いいたします。

### 定期活動 ★7月28日（日）サギソウ開花数調査準備 7名で作業



ブロックラインの設置

昨日のガイドに引き続き定期作業。10日実施のサギソウ開花数調査センサスライン設置作業を。毎年やっている割に失敗することがある作業です。去年は観察ブロック数を間違えて9区画のはずが10区画に。調査後気づき大混乱。今年は初心に帰って慎重に。

やはり水が少なく楽にラインを張っていきません。（喜んでいいのか疑問ですが…）中央に作った「土嚢ダム」付近には辛うじて溜まりがある程度。梅雨の雨は降るには降ったが、総雨量は少なかったような。その割には水はあるほうかな？湧水（滲水）湿原特有のジメジメした状態は、ひび割れがしても維持されます。ただ木本類の侵入はしやすくなり森林化へ。それを止める活動をしているのですが…水がもっと多ければ湿原面積の縮小はもっと遅くなる。拡大の可能性もあり。



ブロックラインとルートライン

我々は天に向かって神に祈るしかないのが現実。「雨乞いか？」昔から雨の少ない地域、祈るには「生贄（いけにえ）」が必要でした。

玉瀬（うちの村）では古宝山（ふるぼうさん）に「鯉」を埋めて祈ったそうです。（古老からの聞き取り）村から見て西の山には「龍岩（りゅうがん・りゅういわ）」（龍＝水神）もある。水との闘いの日々が垣間見れます。今は水道ひねったら、主に淀川水系の水が水道水として出てきます。「なんで？」

下流ではありますが武庫川流域では「白馬」の生贄が「武庫川の高座岩（西宮名塩？）」で明治時代まで行われていたようです。

ご興味のある方は <https://yamauo1945.sakura.ne.jp/kouzaiwa.html> をご参考に。

気候変動があろうがなかろうが旱魃はある。が、頻度の問題でしょうね。現代の人はスマートに解決するようですが…金があれば何でもできる？

話をもとに戻します。喜ばしいことにライン設置中にハッチョウトンボの姿が確認できました。実はたくさんいるのに、暑さで隠れている？前向きに前向きに…。作業中にサギソウも目につきます。さて、調査日（8月10日）にはどれだけの花（株）が確認できるでしょうか？



ルートラインの設置



ミカヅキグサとサギソウ 混乱？

**神戸市シルバーカレッジ 来訪**

★8月1日(土) 講師 里地・里山の保全推進協議会 事務局 大嶋 範行さんと受講生

神戸市の「しあわせの村」内シルバーカレッジ「ECO ライフ/生活環境コース」のグループの皆さんが、講師の大嶋さんとお越しになりました。里山の環境を「評価」するのがテーマのようで熱心に観察されていました。大嶋さんは「水辺ネットワーク」(今は解散?)で「湧水湿地の自然」も編集。最強最悪特定外来種「ナガエツルノゲイトウ」の駆逐活動にも奮闘されている方です。

さて、シルバーカレッジの皆さんには丸山湿原がどう評価されるのか。レポートが楽しみです。

そうそう大嶋さん、環境省の調査も委託されてるそうで、「ナガレホトケドジョウ」の調査も。見事確認されました。さすが「水辺ネットワーク」(解散してる?)



生息確認! ナガレホトケドジョウ

**里山大学 来訪** ★8月3日(土) 北摂里山大学第4回講座 「湿原」

「里山大学」が来られました。「湿原」がテーマ。2年に1度。三田の「皿池湿原」と交代で実施されています。午前中は松尾湿原。「宝塚自然の家」内) 午後に丸山湿原。やはり暑い。まずは「西谷の森公園」多目的室をお借りし、湿原とは何ぞやをレクチャー。その後、丸山へ。人数は約30人。人数を半分に分けて観察。ガイドはあの懐かしいYさん(元ひょうご環境創造協会職員)と私。もっとも暑い時間帯。午前も含めお疲れ様でした。Yさんが何をガイドしたかちょっと気になります。



森公園多目的室で座学

**定期活動** ★8月10日(土) サギソウ開花数調査基礎調査 たからづかエコ講座 基礎調査

例年より約10日早い日程。今年は「たからづかエコ講座」もご参加いただきました。総勢なんと47名。(会員・一般参加・講座受講生・宝塚市職員) ちょっと人数が多すぎた感あり。全体のガバナンスが少々…。暑いこともあって仕方ない部分もありましたが、作業説明がうまく出来ず円滑にできなかった部分がありました。反省! 反面、うれしいことも。「やまぼうし保育園」の親子や、「宝塚北高校放送部」も参加してくれました。やはり雨が全く降らず湿原はカラカラ。一見「草原」状態。来る道にはジュークジュークと水が出ているところがあるのにね。これがこの地域の特徴でもあるのですが…意識を失いそうな暑さの中、熱心にカウントしてくれました。途中挫折した方もチラホラ? マイペースでOK。「自分のカウント信じてください」と言いつつ、隣の人のカウントが気になる。「引っ張られたらあかんで〜」結局41名(多分)の平均で**558株**となりました。私のカウントは708株。見え方は人それぞれですね〜。また来年!



水はないが 美しい



駐車場で事前レク もう混乱?

詳しくは… <https://maruyama-shitsugengun-hozennokai.blogspot.com/>

目的	市内	市外
丸山	55	63
ハイキング	20	24
散歩・登山	2	6

来場者数計 170人  
(竹筒ポスト集計)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
入口	9:28	30.0℃		
第3湿原	10:10	【25.2℃】	177.8 μS/cm	6.5
視点場?	11:25	32.8℃	217.7 μS/cm	6.2
第1湿原	11:15	【23.8℃】	78.2 μS/cm	5.8
第2湿原	10:50	【26.7℃】	141.0 μS/cm	6.3

次回活動日 8月25日(日) 9月7日(土) ガイド研修ツアー 14日(土) 22日(日)